

令和2年7月22日

需要家 各位

東関東生コン協同組合

暑中期におけるレディーミクストコンクリートの出荷対応について

近年は夏場の気温が上昇し、最高気温が35℃を超える猛暑日も多くなり、レディーミクストコンクリート製造時のコンクリート温度についても35℃に迫る温度が見られるようになっております。

このような現状をご考慮頂き、下記に示します荷卸し時のコンクリート温度に関する対応へのご協力をお願い申し上げます。

1. 荷卸し時のコンクリート温度35℃超の受入れについて

組合員工場は、これまでコンクリート温度の上限値を35℃としておりましたが、荷卸し時のコンクリート温度の上限値38℃以下<sup>\*1</sup>に対応できる様、社内規格を改定し、JIS登録認証機関の認証を受けております。荷卸し時のコンクリート温度が35℃を超えた場合でも38℃以下であれば、JIS製品として出荷可能となっておりますので、ご検討のほどお願い申し上げます。

2. 荷卸し時のコンクリート温度が35℃を超える可能性がある場合の納入について

組合員工場においては、暑中期における対策は実施しておりますが、決定的な対策はなく、荷卸し時のコンクリート温度が35℃を超える可能性があります。受入れ時のコンクリート温度を35℃以下とされている場合には、納入できずご迷惑をおかけする事態になることが考えられます。場合によってはレディーミクストコンクリートの納入をご辞退させていただくこともあることをご承知おきいただきたくお願い申し上げます。

つきましては、需要家様におかれましては、納入時のコンクリート温度が35℃を超えた場合の対応について登録販売店様とご相談頂き、ご指示を頂きますようお願い申し上げます。

このような状況をご理解頂き、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

※1 日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事 2018」13節 暑中コンクリート工事の解説に記載の適切な対策を講じることにより許容される荷卸し時のコンクリート温度の上限値。